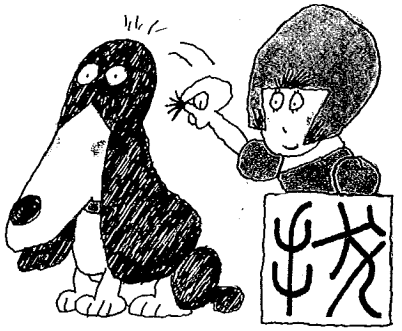
抜

7画

一 扌 扌 扌 扌 抜（はねる）

おん バツ

くん ぬく・ぬける・ぬかす・ぬかる



なりたち 旧字体は拔で、犬を殺すことを表した友とすとの会意形声字。犬の皮をはぐことを表した字で、〝はぐ〟こと。また犬の毛をぬくことから〝ぬく〟意味に使われている。

いみとじゅくご

▼ぬく。ぬける。

選抜…多くの中から選び抜くこと。例選抜試合

抜歯…悪い歯を抜くこと。

抜糸…手術などで傷口をふさいだ糸を、癒着後に抜きとること。

抜粋…文章や楽曲などから、必要な部分をぬき出すこと。また、ぬき出したもの。

▼ぬきんでる。

抜群…多くの中で、抜きんでてすぐれていること。用例試験で抜群の成績を収める。

卓抜…他のものより断然すぐれていること。用例卓抜した才能の持ち主。

奇抜…非常に風変わりな様子。

よみかた 抜き打ち・抜き書き・抜き手・抜け穴・抜け駆け・抜け目・海抜・毛抜き・底抜け・筒抜け・拍子抜け

髪

14画

一 丨 丨 丨 丨 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟（はらう）

おん ハツ

くん かみ

なりたち 髪の形を表した彡と長の略字髟と犮との会意形声字。〝長いかみの毛〟という意味の字。犮は長く伸びるとこれを切り取る意味を表している。

いみとじゅくご

▼かみの毛。

散髪…長く伸びた髪を刈って整えること。理髪。調髪。

有髪…髪をそらないこと。用例有髪の僧。

洋髪…西洋式の髪型。

銀髪…つやのあるグレーの髪。また、美しい白髪。

よみかた 髪飾り・髪結い・金髪・黒髪・整髪・頭髪・理髪・白髪

さんこう 白髪

特別なよみかた↓

隻

10画

亻 亻 什 隹 隻 隻（はらう）

おん セキ

くん

なりたち 小鳥の形をかたどった隹と右手を表した又との会意字。小鳥を一羽とらえたことを表した字で、〝鳥一羽〟また、〝ひとつ〟という意味に使われる。今は、船を数えるのに使う。

いみとじゅくご

▼ひとつ。ただ一つ。

隻影…ただ一つの物の姿。用例隻影すら認めず。（あたりに全く物の姿が見当たらない。）

▼かたほう。

隻眼…❶片目。❷一つの見方。例一隻眼（ひとかどの見識。すぐれたものの見方。）

隻手…片手。

▼ちょっと。ほんの少し。

隻語…短い言葉。例片言隻語

▼船を数える時の言葉。用例数隻の船。

よみかた 隻脚

双

4画

フ 又 又 双（はらう）

おん ソウ

くん ふた

なりたち 旧字体は雙で、手に二羽の小鳥をつかんだ形の字。〝鳥二羽〟また、〝ふたつ〟という意味を表す。今の字形は右手をふたつ並べた形で〝ふたつ〟の意味を表している。

いみとじゅくご

▼ふたつ。ふたつで一組になっているもの。対。

双生児…ふたご。

双眼鏡…両方の目にあてて見るようにできた望遠鏡。

双肩…左右の肩。また、責任や任務を引き受けなければならないことのたとえ。用例わが国の将来は若人の双肩にかかっている。

双方…両方。

▼並ぶ。肩を並べる。

無双…並ぶものもないほど、すぐれていること。例古今無双

よみかた 双曲線・双紙・双書・双子・双葉